

平成 29 年度 がん検診再受診勧奨事業の結果および  
平成 30 年度がん検診再受診勧奨事業内容について

## 1 平成 29 年度がん検診再受診勧奨事業について

## (1) 実施方法

対象区民へ子宮がん・乳がん検診の受診勧奨リーフレットを送付。  
なお、リーフレットは受診歴に応じて異なる内容としている。

## (2) 対象者

平成 30 年 3 月 31 日現在、以下の年齢に該当する女性区民。

- ・子宮がん：29、34、39 歳
- ・乳がん：44、49 歳

それぞれについて、過去 3 年間の受診歴に応じ下記のとおり区分する。

- ・2・3 年前に受診している者：受診者
- ・3 年間受診していない者：未受診者

なお、平成 29 年 8 月 18 日時点で、平成 29 年度に対象のがん検診の受診を確認できた者（平成 29 年 4 月～8 月受診者）は、発送対象者から除外した。

## (3) 発送日

平成 29 年 9 月 19 日（火）

（個別勧奨通知は、4 月～6 月に送付）

## (4) 発送件数

- ・子宮がん検診【受診者用】 ..... 1,731 件
- ・子宮がん検診【未受診者用】 ... 7,387 件
- ・乳がん検診【受診者用】 ..... 1,729 件
- ・乳がん検診【未受診者用】 ..... 8,080 件
- 合計 ..... 18,927 件

## 2 平成 29 年度受診状況について

	対象者数	受診者数	受診率
子宮がん検診【受診者】	1,731	270	15.6%
子宮がん検診【未受診者】	7,387	305	4.1 %
乳がん検診【受診者】	1,729	724	41.9%
乳がん検診【未受診者】	8,080	538	6.7 %

### 3 平成 29 年度受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するための比較データは、下記の年齢に該当する女性区民（再勧奨対象者と1歳違い）のうち、対象者と同条件の者とした。

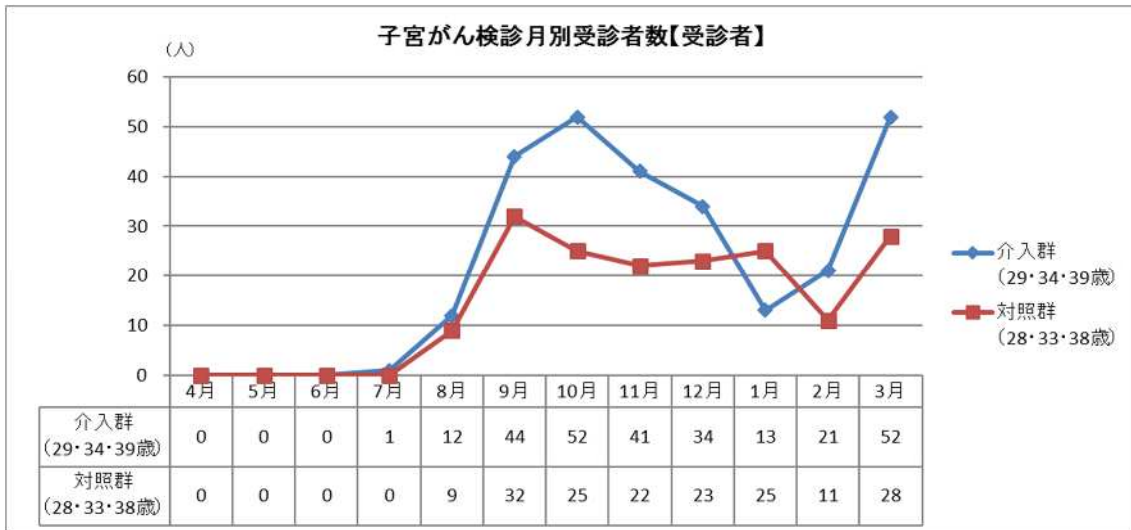
・子宮がん：28、33、38歳      ・乳がん：43、48歳

なお、平成29年8月18日時点で、平成29年度に対象のがん検診の受診を確認できた者（平成29年4月～8月受診者）を「(1)発送後の受診者数」は除外して集計、「(2)受診率の比較」は含んで集計を行っている。

#### 発送後の受診者数

**子宮がん【受診者】：29、34、39歳**

受診勧奨を行った「介入群（29、34、39歳）」の9月と10月の受診者数は大幅に増加。11月以降は「対照群（28、33、38歳）」との差が徐々に縮まったが、3月は再び受診者が大幅し受診勧奨直後と同じ受診者数となった。



**子宮がん【未受診者】：29、34、39歳**

受診勧奨を行った「介入群（29、34、39歳）」の10月の受診者数は、8月に比べて3.2倍増加。12月以降は1月を除き「対照群（28、33、38歳）」と比べると約2倍の受診者数となった。



**乳がん【受診者】：44、49歳**

乳がん検診の受診月は、申し込み月の2か月後となるため、11月以降の受診状況を比較する。

受診勧奨を行った「介入群（44、49歳）」の受診者数は同月「対照群（43、48歳）」比で11月は約2.6倍、12月は約2.8倍多くなる結果となった。

11月以降全ての月で「対照群（43、48歳）」よりも多くなっている。

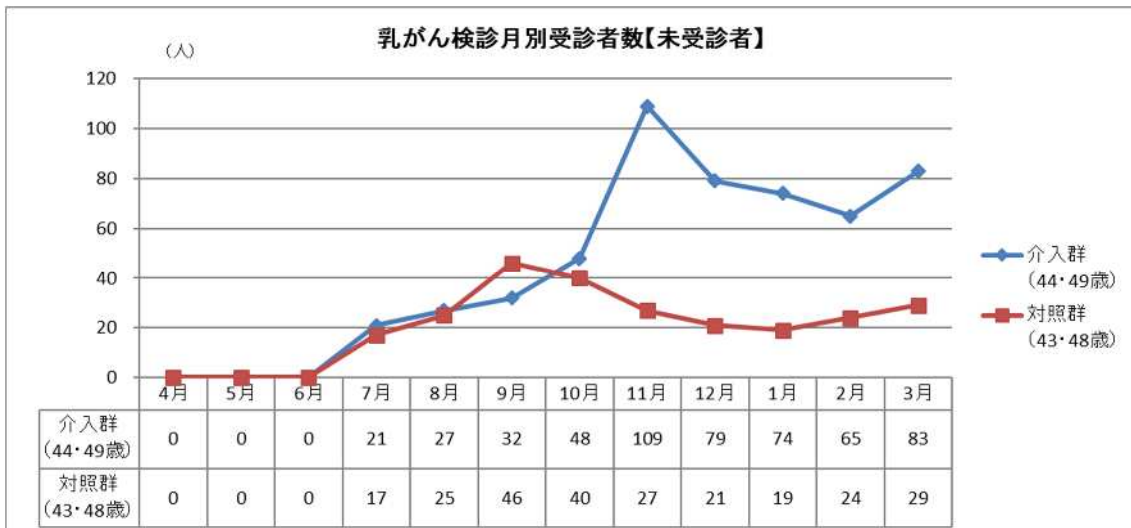


**乳がん【未受診者】：44、49歳**

乳がん検診の受診月は、申し込み月の2か月後となるため、11月以降の受診状況を比較する。

受診勧奨を行った「介入群（44、49歳）」の11月の受診者数は10月に比べて約2.3倍増加、12月の受診者数は約1.6倍増加。

11月以降全ての月で「対照群（43、48歳）」よりも多いものの、乳がん【受診者】の傾向と比較すると、受診勧奨効果が早めに弱まる傾向にある。



## 受診率の比較

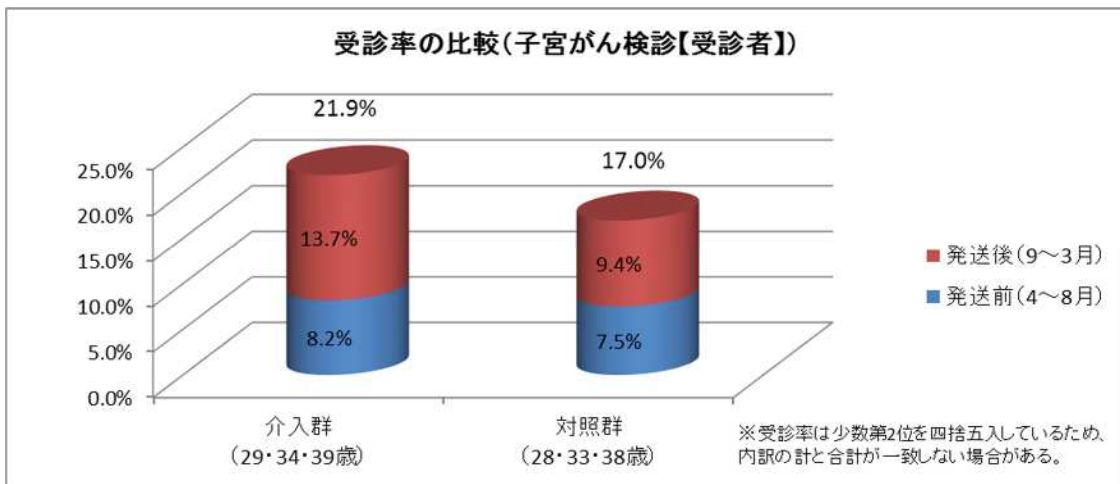
子宮がん【受診者】：29、34、39 歳

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ 4.9 ポイント高かった。

( 1 )

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前（4 月～8 月）は、「介入群」が 8.2%（153 人）、「対照群」が 7.5%（132 人）で 0.7 ポイント高いのに対し、発送後（9 月～3 月）は、「介入群」が 13.7%（257 人）、「対照群」が 9.4%（166 人）で 4.3 ポイント高かった。

1 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。（ $p < 0.001$ ）



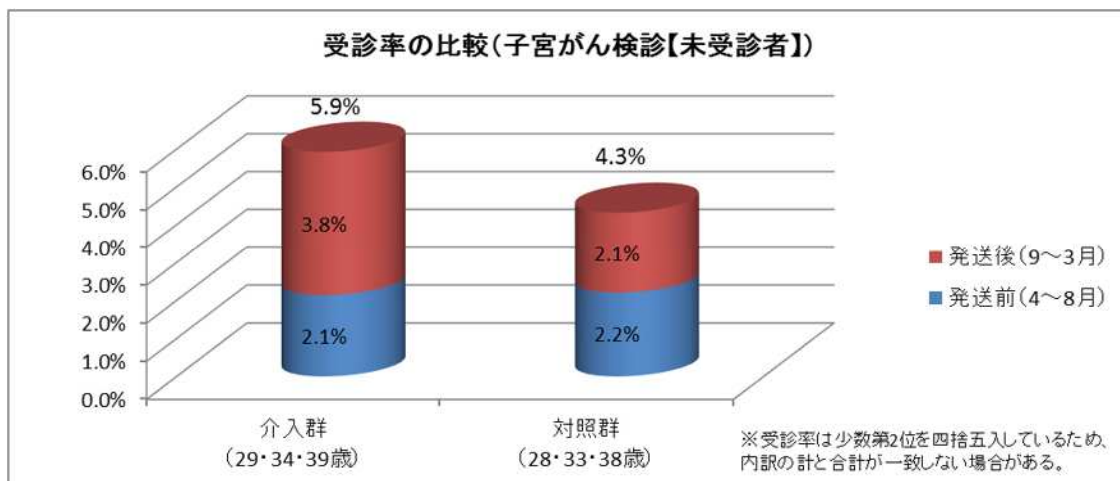
子宮がん【未受診者】：29、34、39 歳

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ 1.6 ポイント高かった。

( 2 )

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前（4 月～8 月）は、「介入群」が 2.1%（161 人）、「対照群」が 2.2%（162 人）と 0.1 ポイント低いのに対し、発送後（10 月～3 月）は、「介入群」が 3.8%（285 人）、「対照群」が 2.1%（155 人）で 1.7 ポイント高かった。

2 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。（ $p < 0.001$ ）



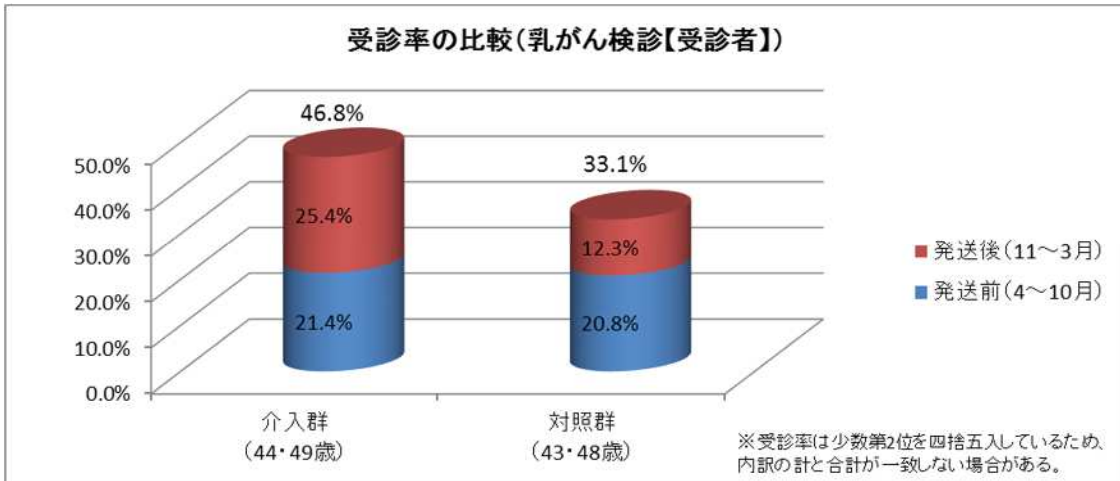
**乳がん【受診者】：44、49歳**

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ 13.7 ポイント高かった。

( 3 )

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～10月)は、「介入群」が 21.4% (405 人)、「対照群」が 20.8% (339 人)と 0.6 ポイント高いのに対し、発送後(11月～3月)は、「介入群」が 25.4% (479 人)、「対照群」が 12.3% (200 人)で 13.1 ポイント高かった。

3 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p<0.001)



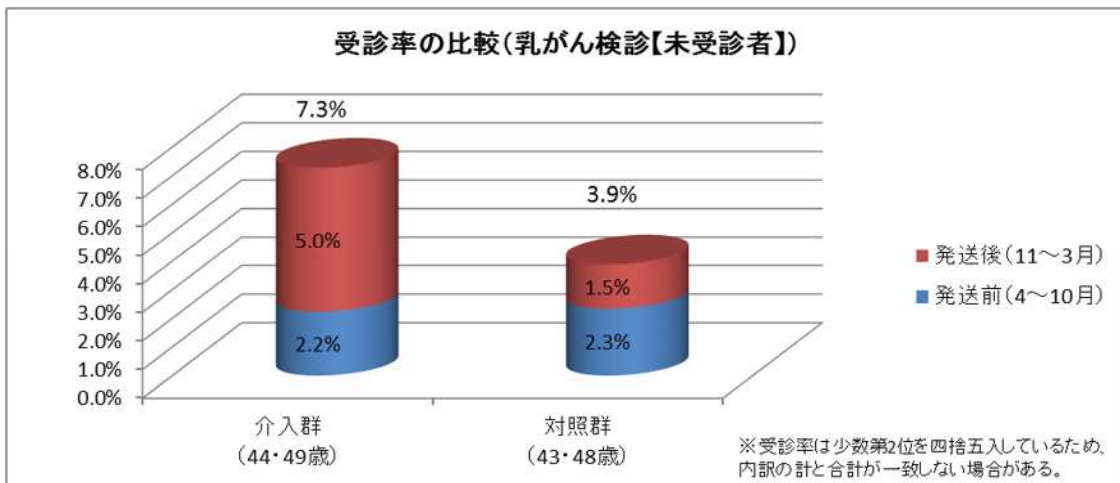
**乳がん【未受診者】：44、49歳**

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ 3.4 ポイント高かった。

( 4 )

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～10月)は、「介入群」が 2.2% (181 人)、「対照群」が 2.3% (181 人)と 0.1 ポイント低いのに対し、発送後(11月～3月)は、「介入群」が 5.0% (410 人)、「対照群」が 1.5% (120 人)で 3.5 ポイント高かった。

4 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p<0.001)



#### 4 平成 30 年度がん検診再受診勧奨事業内容について

##### (1) 乳がん検診再受診勧奨ハガキ

###### ア 実施背景と実施方法

国立がん研究センターより NHK「ガッテン！」乳がん検診特集を活用した受診勧奨企画として番組放送に合わせて受診勧奨の呼びかけがあったことから、乳がん検診の受診率向上を図るため、対象区民へ乳がん検診の受診勧奨ハガキを送付。

###### イ 対象者

平成 29 年度の 40 代における乳がん検診受診率が低かった 1 年齢を対象とした。

平成 31 年 3 月 31 日現在、46 歳の女性区民。

なお、平成 30 年 7 月 27 日時点で、平成 30 年度に対象のがん検診の受診を確認できた者（平成 30 年 4 月～7 月受診者）は、発送対象者から除外した。

###### ウ 発送日

平成 30 年 8 月 29 日（水）

###### エ 発送件数

5,121 件

（参考）NHK「ガッテン！」乳がん検診特集放映日

平成 30 年 9 月 5 日（水）

##### (2) がん検診再受診勧奨リーフレット

###### ア 実施方法

対象区民へ子宮がん・乳がん検診の受診勧奨リーフレットを送付。

なお、リーフレットは受診歴に応じて異なる内容としている。

また、対象者がいつから該当のがん検診を未受診であるかの情報を掲載するようにした。

#### イ 対象者

平成 28 年度から開始した子宮がんおよび乳がん検診無料チケット事業の対象者の継続受診を促す目的で対象年齢を変更した。

平成 30 年 3 月 31 日現在、以下の年齢に該当する女性区民。

- ・子宮がん：22、24 歳
- ・乳がん：42、44 歳

それぞれについて、過去 3 年間の受診歴に応じ下記のとおり区分する。

- ・2・3 年前に受診している者：受診者
- ・3 年間受診していない者：未受診者

なお、平成 30 年 8 月 24 日時点で、平成 30 年度に対象のがん検診の受診を確認できた者（平成 30 年 4 月～8 月受診者）は、発送対象者から除外した。

#### ウ 発送日

平成 30 年 10 月 2 日（火）

#### エ 発送件数

13,897 件